

向ヲ孕メルハ革新的人士ノ進出ヲ期待スル政府ノ希望ト正
反對ノ結果ヲ招来スル虞アルヲ以テ我々ハ大東的ニ政府ノ
意圖ヲ支援シツ、推薦母体ノ純正強化ヲ期スベキナリト
ノ申合ヲ為シタルガ、更ニ二月二十二日左記ノ如キ翼賛政
治体制協議會ノ構成人物ニ對スル非難並ニ候補者推薦ニ際
スル要望事項ヲ内容トスル声明書ヲ作成シ關係方面へ送付
セリ。

記

翼賛政治体制確立協議會ニ對スル

建國會聲明

責任者

赤尾敏

一、大東亞戰爭完遂ノ為ニ政府ハ翼賛議會確立ノ意圖ヲ以テ今
回翼賛政治体制確立協議會ヲ組織サレ勿論其趣旨ニ於テハ

全幅ノ賛成ヲ表スル者デアルガ、其具體的構想ニ於テハ尙
大ニ再考慮スベキ余地アルト信ズル

二、推薦サレタ協議會員三十三名ノ中ニハ我々ノ承服シ難キ人
物モアリ大体ニ於テ旧体制的人物ガ多ク、革新的要素少キ
ヲ遺憾トスル

三、協議會ノ人員ノ中ニモツト多クノ日本主義革新陣營ノ代表
者ヲ参加サスベキデアル

四、協議會ハ飽ク迄公平無私國家本位ニ一功ノ情實利害私情、
策動等ノ不純性ヲ排除スベキコト

(イ) 推薦スルベキ人物ノ規準ハ一、國家主義觀念ノ明確ナル
者ニシテ過去ニ於テ日本主義思想的並ビニ政治的歴史ヲ
保有スル者ヲデキル大推薦スベキコト

- (四) 共產主義、社會主義運動等ノ重大ナル思想的罪科ノアル
 怪シムベキ輒向派ハ此ノ際絶對推薦セザルコト
- (ハ) 自由主義的既成政黨ノ殘党ハ極力排除スベキコト
- (ニ) 時局便乗ノ鵠的人物ヲ排撃スベキコト
- (ホ) 及軍、及戰的傾向ヲ内包スル及時局的後輩ヲ排除スベキ
 コト

八 瑞穂俱樂部

瑞穂俱樂部ニ在リテハ今次ノ總選挙ニ関シテハ未ダ聲明或
 ハ決議等ニ依リ明確ナ態ヲ表明シ居ラザルモ二月二十日
 以降ノ定例理事會（毎週金曜日事務所ニ於テ開催シ毎回伊
 達孫作、大井成元、小林順一郎、井田磐楠、匝瑳胤次等の
 二十名出席ス）ニ於テ開陳セシ意嚮ヲ綜合スルニ「今次ノ

總選挙ヲ契機トシテ親英米の議會勢力ヲ驅逐シ皇道政治ニ
還元セシムベキデアリ、政府ハ断乎タル決意ヲ以テ翼賛議
會ノ確立ヲ期シツ、アル莫ニ對シテハ一應諒トスルモ、其
ノ手段ニ関シテハ必ズシモ同意シ難シ。即政府ハ候補者ノ
推薦ヲ行ハシムベク翼賛政治体制協議會ヲ結成セシガ斯ル
構成分子ニテハ適格者ノ推薦ハ望ミ難シ、又政府ハ目的達
成ノ爲大政翼賛會、翼賛壯年團等ヲ利用セントシツ、アル
ガ、翼賛會ハ所謂公事結社ニシテ選挙ニ直接関與スベキニ
非ズ、其他政府ハ過般「總選挙對策基本要綱」ヲ發表シタ
ルガ右ハ選挙干渉ノ虞アリ等政府ノ總選挙對策ニ對シテ批
評的態ヲ示シツ、アリ。

九大東亞青年同盟（日本主義青年會議）

日本主義青年會議ニ在リテハ政府ノ選挙対策ニ関シ協議ノ
結果左記ノ如キ「皇道選挙綱領」ヲ決定シ二月二十五日附
関係各方面ニ送付シタリ。

記

皇道選挙綱領

第一條 全國民ハ「憲法發布ニ賜ハリタル勅語」ヲ奉讀三思三
省スルコト

第二條 忠良ナル赤子ノ賢明ナル自覺ニ待ツ公明朗ナル副紀的
選挙ヲ行フコト

第三條 大東亞戦争ニ依ツテ襁被セラレタル愛國心ニ想之世界
ヲ修理固成スル大ニ民トシテノ模範選挙ヲ行フコト

第五條 欽定憲法ノ神聖ヲ防衛スルタメニ權力全力濫用ノ弊習ヲ一掃シ、權力全力ニ對スル屈辱的奴隸ノ根絶ニ努力スルコト

第五條 ソノ社會的地位、個人的性格ニ依リ情實因縁ニ支配サル、虞アル者ノ推薦ヲ無効ナラシムルコト

第六條 國体ヲ明徴ニスルタメ、權力、金力、外來思想ニ因リ幕府の勢力結成、虞アリト認ムル危險分子ヲ排撃スルコト

第七條 右ノ項ニ該當スル者ノ立候補ヲ遠慮セシムルコト

1. 國体觀念ヲ晦迷ナラシメ、祖國ヲ外國ニ替フル者
2. 權力國家ノ亞流ニ墮シ、霸道國家ノ後塵ヲ拝スル者
3. 自由主義者、社會主義者、人民戰線、東亞聯盟論者及ソノ背後ニ跳ル妖怪的人物

107

十 崇 皇 社

- 4. 國際聯盟（英米、謀略）ニ積極的支持ヲナシタル者
- 5. 國際共同組合ニ加盟シタル者
- 6. ワシントン條約、ロンドン條約締結ニ當リ屈辱的幫助ヲナシタル者
- 7. 利敵行為、又戰論ヲナシタル者
- 8. 財團、代辯、走狗トナリシ者
- 9. 既成政黨、領袖幹部タリシ者
- 10. 貪吏汚吏ナリト認めラル者

昭和十七年二月二十五日

日本主義青年會議送拳對策委員會

1.
東京社（佐野均）ニ在リテハ三月五日首相官邸ヲ訪問シ「
緊急重大進言」ト題スル進言書ヲ提出シタルガ、右書中總
選挙ニ関シテ「翼賛政治協議会ガ推薦候補者ヲ作ル事ハ法
律的ニ疑矣」リ更ニ非推薦者トノ関心覇ヲ争ツテ相剋セシ
ムルコトハ一億鉄丸ノ協力心ニ政府自カラ亀裂ヲ生ゼシム
ル結果トナルベシ。従ツテ詮衡或ハ立候補ヲ懲息スルハ可
ナルモ推薦形式ヲ採ラズ自由立候補タラシムベキ旨主張
セリ。

145



昭和十七年三月三十一日現在

國家主義團體立候補見込者表

警保局保安課

國家主義團體立候補見込者表 昭和十七年三月三音現

府縣選舉已立候補見込者氏名職業年令 摘要

大日本赤誠會	東京一區	米間 恭	辯護士	四六	本部出版局長
"	三區	今牧嘉雄	醫師	四六	本部審議員
"	五區	鈴木興一	東京合成樹脂工業株式會社社長	三五	
"		服部寅雄	無職	四三	元有馬預審、秘書、杉並支部長
"		篠田八十八	電氣自動運轉手	四五	市電分會長
"	埼玉一區	下村亮一	編輯局長兼報知新聞論說委員	三五	
"	群馬二區	黑澤成実	藥劑師	四九	綠聯合支部顧問
"	茨城一區	雨谷菊夫	述業	三九	青年部長
"	二區	柳下肆平	成翼會本部員	三七	
"	千葉一區	原 四郎	酒釀造及會社員	四三	綠聯合支部長
"	二區	白石 重著	述業	四三	
✓	岩手二區	菱谷敏男	更塾頭	四〇	綠聯合支部長

" " " " " " " " " " " "

同	和歌山	"	兵	京	"	"	大	石	"	富	歧	愛	靜
山一區	和歌山一區	"	庫一區	都三區	"	"	阪四區	川一區	"	山一區	阜一區	知一區	岡二區
後藤	系川	"	田	水島	"	"	大橋	安達	"	小川	三浦	竹下	樋口
菅司男	欽也	根本	淵	房一	日秋	伊藤	治房	十六	高広	喜一	正夫	傳吉	修次
印刷	醫師	佐兵衛	巖	農	喬一	松太郎	房	赤城	三郎	會社	待合	辯護	旅館業
業	業	食料	神戶	業	屑物	機械	員	事務	員	業	業	士	熱海
三九	五五	五三	三六	四九	四五	五一	四七	六〇	四〇	五九	四三	四一	熱海支部長
孫聯合支部				須磨支部長			存議			部長	孫聯合支部長	孫聯合支部長	

家持

東	會	德島	香川	福岡	大分
二宮	一宮	一宮	一宮	一宮	一宮
宮内藤吉	猪俣敏太郎	鈴木義伸	橋本欣五郎	和泉市藏	
賞	振東塾事務員	無	無	無	
商		職	職	職	
六〇	三二	四七	五二	五八	
聖徳の道總裁	東方青年隊副隊長	絲聯合支部長	赤誠會長	連見郡支部長	
	三一				
	常任幹事				
	三二				
	東方青年隊長				
	三五				
	常任幹事				
	四〇				
	振東塾參與				

(以上三一名)

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃	愛	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	和	三	五	一	三	四	二	三	一	二	一	二	三	六	七
	一	巴	巴	巴	巴	巴	巴	巴	巴	巴	巴	巴	巴	巴	巴
	青	松	杉	結	稻	中	古	白	武	飯	藤	宮	宮	宮	宮
	山	村	浦	城	村	村	澤	木	新	島	藤	崎	崎	崎	崎
	雅	道	武	源	隆	又	斐	豊	例	吉	吉	龍	龍	龍	龍
	彦	司	雄	一	一	七	辯	寿	記	之	熊	介	介	介	介
	芝	著	辯	柔	著	郎	護	辯	者	助	〃	〃	〃	〃	〃
	植	述	護	道	述	無	護	護	者	農					
	計	業	士	教	業	職	士	士	者	業	業	士	士	士	士
	請	四	五	師	四	五	四	四	四	四	四	四	五	五	五
	員	〇	三	四	五	九	二	三	〇	二	三	〇	〇	〇	〇
	業		本	五	五	九	二	三	〇	二	三	〇	〇	〇	〇
	四		部	五	五	九	二	三	〇	二	三	〇	〇	〇	〇
	八		參	五	五	九	二	三	〇	二	三	〇	〇	〇	〇
	名		與	五	五	九	二	三	〇	二	三	〇	〇	〇	〇
	古			五	五	九	二	三	〇	二	三	〇	〇	〇	〇
	屋			五	五	九	二	三	〇	二	三	〇	〇	〇	〇
	支			五	五	九	二	三	〇	二	三	〇	〇	〇	〇
	部			五	五	九	二	三	〇	二	三	〇	〇	〇	〇
	長			五	五	九	二	三	〇	二	三	〇	〇	〇	〇

“ ” “ ” “ ”

神奈川一區金井芳次	大阪四區田辺綱興	石川一區林周盛	岐阜二區三田村武夫	三區河野金昇
東京毎日新聞記者	業主	前日本銀行員	述業	東方青年隊組織部長
四八東方會橫濱支部顧問	四四岸和田市議	三五	四四組織宣傳部長	三三

東方會

京都一區	津司市太郎	醫師	四五
大野	熊雄	辯護士	五三
二區	田中	義男	四五
三區	田中	義男	四五
兵庫二區	長尾	有齒科	四四
滋賀	田中	養達	五八
廣島一區	渡辺	忠雄	四五
廣島三區	花崎	愛之助	四六
岡山一區	佐藤	又造	四二
岡山一區	青木	作雄	四五
高知一區	大石	大アパルト	六六
愛媛二區	氏原	一郎	四三
愛媛	渡辺	鬼子松	五九
福岡一區	中野	正剛	五七
福岡一區	進藤	一馬	三七

東方會以上四十七名

鹿兒島一區慶田	熊本一區笠藏次公吏	大分一區安部萬太郎并護士	四區岡正巳鑲業	三區稻富稜人無職	二區山隈煥一醫師	小林峯次并護士
茂振東空亭監						
五〇 訓練部長	六三	四〇 大分縣支部長	四一	四一	四八 八幡支部長	五四 福岡支部幹事長

元立憲養正會

東京一區	平澤兵之助	無職	六〇	總務
四區	野々村寛止	文房具商	四八	總務
六區	小野寺榮治	養正時評社員	四四	總務
群馬一區	田中澤二	無職	五六	總裁
二區	田村益喜		四四	總務部長
北海道一區	永野傳吉	果菜業	五五	釧路第一區聯合支部長
三區	錦田專治	餅商	四一	第一區聯合支部長
青森一區	野呂鉄彌	飲食店營業	五一	第一區聯合支部長
宮城一區	高地清太郎	無職	四二	本部總務課長
秋田一區	金作之助	農業	五八	秋田縣第一區聯合支部長
新潟三區	佐藤正男	醫師	四二	市聯合支部長
一區	中川作太郎	無職	六〇	本部總務課支部長
靜岡三區	伊藤茂雄	小問物商	四九	
山梨	井上潔	醫師	四三	縣聯合支部長
愛知五區	田村安之助	洋服商	三九	元豐橋聯合支部長

東京連盟協會				" " " " " " " " " " " "										
東京一區原				長野四區田中	福井	大坂四區遠藤	兵庫一區江南富三郎	廣島三區原	鳥取	高知二區岡林唯右門	福岡二區藤野	新潟三區高頭憲二郎	元立憲養正會以上二十四名	
王重年護士				耕	丈男	清	賣藥商	無職	直定	莫大小商	正藏	齒科匠		
網吉年護士				醫師					書籍販賣業		酒類商			
梅吉年護士														
高一年護士														
現代議士				四六	五五	三一	三七	四〇	五六	三八	四八	縣聯合支部長		
現代議士				四六	五五	三一	三七	四〇	五六	三八	四八	縣聯合支部長		
現代議士				四六	五五	三一	三七	四〇	五六	三八	四八	縣聯合支部長		

大日本経国联盟	大日本党
東京五区 瓜生喜三郎 会社員	神奈川一区 森 栄一 無職
福島三区 阿部 民次 弁護士	茨城三区 杉田 省吾 出版業
静岡三区 朝比奈秀徳 歯科医	新潟三区 古川 文平 農業
石川二区 富田 嘉作 弁護士	岐阜三区 井戸 喜一 農業
	大阪(四区) 古川 武 大阪市翼賛会嘱託
	京都一區 神田 兵三 無職
	兵庫五区 佐々井一 晁 著述業
大日本党 以上七名	
五八 理事長	四八 總務
四二	四一
五二	五四
四〇	四三 縣聯合會長
	四四 總務委員
	五九

天	愛 鄉	元 日 本 革 新 黨	光
塾 茨 城一邑 山本武弘 大日本報社 會理事長	會 茨 城二邑 橋孝三郎 無 三邑 赤城宗德 農	北 海 道 一 邑 佐藤一雄 園 藝 業 四 七	會 茨 城一邑 渡辺卓哉 八光會 幹事 四 五
四一	業 三 九	福 岡 四 邑 小池四郎 著 述 業 五 一	虎 兒 島 一 邑 宇田國榮 東亞國政 社長 四 〇 幹 事
	職 五 〇 愛 鄉 塾 頭	愛 知 一 邑 山崎常吉 文具製造 販賣業 五 二	

皇民實踐校議會東	勤皇挺身隊	祖國會東	大東亞同志會東	" "
山形二邑押切武志 皇民實踐校議會書記 四二	東京二邑武藤貞一 報知新聞主筆 五一	東京一邑高倉寬臣 日本織毛工業株式會社 取締役 五五 當送一四(福島)	東京一邑福家俊一 無 職三一	兵庫五邑米崎為之辯 護士 四八
福島一邑本田高義無 職四一		新潟一邑北吟吉著 出業 六五	五邑津久井龍雄 主之新聞副社長 四二	三邑根本英臣 師 五七 塾頭

興業俱樂部 部東

京四区伊藤信司

鋼鉄業

三二常任世話人

天関打開期成會東

京五区平井虎二

護士

四一

福 島 二 区 堂 本 為 廣 金 物 商 五 三

滿井佐吉著 述 業 五〇

いはらぎ新聞社長支援

茨 城 一 区 中 村

登情報局囑託

三四

皇道國成会 まことむすび会茨

城 三 区 飯 島 孝 太 郎 製 糸 業 三 三

興村自治講演会茨

城 二 区 倉 田

檢味噌醸造業

三八

元 皇道自治會岩

手 一 区 三 田

三郎岩手区専教授

四二

元東亞建設同志會宮	城一區	清野孝道僧	侶	三六縣	議
自林大同會新	鴻四區	田村耕太郎 <small>自林大同會總裁</small>			
國際反共聯盟新	鴻三區	高野忠藏無	職	三八	
帝大七生社新	鴻二區	柏葉圭亮 滿鉄顧問		五七	
元新鴻皇國農民聯盟新	鴻二區	柄澤利清無	職	三五	
岳南郷亭党靜	岡一區	堤不二雄 <small>特產物斡旋業</small>		四五	
中正會岐	阜二區	野田豊無	職	六〇	瑞穂俱樂部支部支援

元東進建設同志會 宮城一區清野孝道僧 侶三六縣議	自稱大同會 新瀧四區田村耕太郎 自稱大同會總裁	國際反共聯盟 新瀧三區高野忠藏 職三八	帝大七生社 新瀧二區柏葉圭亮 滿鉄顧問 五七	元新瀧皇國農民聯盟 新瀧二區柄澤利清 職三五	岳南郷党 靜岡一區堤不二雄 特産物幹旋業 四五	中正會 岐阜二區野田豊 職六〇 瑞穂俱樂部 支部支援
--------------------------------	-------------------------------	---------------------------	---------------------------------	------------------------------	----------------------------------	--

明元 大倫會社	山梨 清水行之助 延和全額株式會社社長	山梨 今井新造 會社重役	京都 北尾半兵衛 農業	山梨 平野力三 著述業	兵庫 圭藏 護士	愛知 太田吉太郎 會社員	愛知 安藤富士雄 護士	岐阜 章 播磨青年學校教諭	岐阜 早一區 橋	岐阜 二區 大野 黎 醫師	長野 藤井伊右門 酒造業	長野 三區 中原 謹司	長野 四區 小野 祐之 石灰製造	旧信州郷軍同志會	国民生活研究所(旧谷本聖火会)	大日本精神宣揚會	士 魂社	皇道會	明元 大倫會社
四八	四八	四八	四九	四四	五二	五二	三九	四〇	五四	五四	五三	五四	四八						
京都支部幹事長				四縣支部長			理事長			離問	要覽會長野村文部大臣								

國防經濟研究所	北海國民道場	元革新同盟党	拓南協會	大東建設協會	建國會	滋賀勤勞民衆同盟會	大亜細亞協會	"	"	"	國粹大衆党
青森二區 行内 俊吉 社員	北海道一區 林 貞四郎 著述業	群馬一區 後藤清一 著述業	東京七區 野口 幹 無職	東京六區 横山 清一	青森二區 仁尾 勝男 農村文化研究會會長	東京六區 赤尾 敏 無職	兵庫一區 今井 嘉幸 弁護士	德島一區 津川 義男 海産物商	五區 笹川 良一 鑛山業	四區 吉松 正勝 無職	大阪一區 菊地 東一郎 無職
四三	三三	四四	四三	三七	三八	四四	六五	六五	三二	三九	三八
三六三五 等一友 援アリ	三三 三三 三三 市道議		三八 三五 市議	三七 協會 主事		四四 會長	六〇 顧問	四二 會長		三四 總裁	

皇道實踐會

岐阜二區 是玉 信夫 護士

五一

旧飛騨市町行政同志會

岐阜 阜三區 佳 德藏 洋雜貨商

三四

猫興會

長野二區 小山 亮 船長

四八 現代護士

元刷新會

富山一區 長原 葦郎

三五 本部理事長

伏木直心會

富山二區 太田 幸一 商二省嘱託

三三 名譽會長

雄姿塾

富山二區 岩佐 虎一 郎 報知新聞富山支局長

四〇

頭真塾

富山一區 藤江 清航 僧侶

四六 塾頭

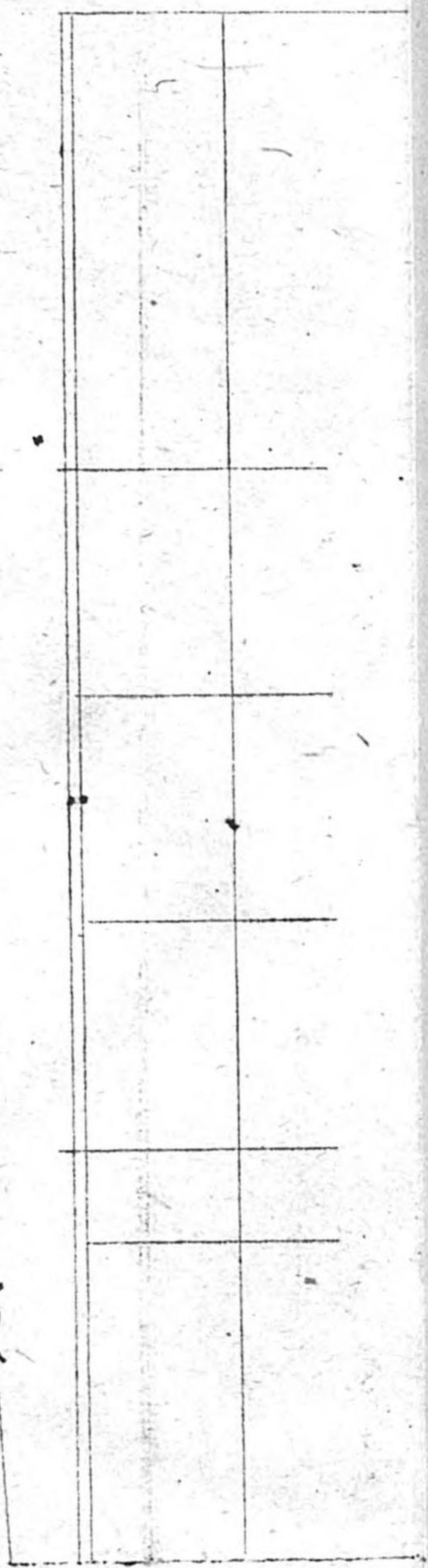
時局協議會

福井 薩摩 雄次 國民新聞編輯長

四六

頭山精神顕揚会	日本國体季会	建 依 社	廣島皇室道扶翼会	三重縣時局懇談会	南 木 會	印度独立支援同盟
高知二区	高知二区	高知一区	廣島一区	三重一区	大阪五区	大阪四区
藤本尚則	金子多命	岡上守道	岡野龍一	川村尚武	鈴木愛之助	山根敏三
新聞社員	会社員	著述業	出版業	無職	製菓業	護士
五五會長	四三	五三	五〇	六五	四五	四九
	常任理事	理事長				

愛國同志會	大分一區大島	高精陸軍省顧問	五八
日本大道會	佐賀二區西村	塔無職	六二
日本青年聯盟	佐賀一區馬郡建次郎	會社員	四三
日本盛國社	佐賀一區中野	邦一牛護士	五九 現代護士
無創生會	福岡一區有喜	治人牛乳搾取業	三九
議員俱樂部	廣島三區永山	志則	四六
		翼會委員長高橋 部副部長長政 安	當選二回五學生參與官
回國民同盟	佐賀二區森	峰一鑛業	六〇
	佐賀一區夏崎	勝次退役海軍少將	六一



(22)



總人秘第一六四號

昭和十七年三月三十日

各道府縣支部長殿

大政翼贊會事務總長

役職員ノ立候補等ノ取扱ニ關スル件

標記ノ件ニ關シテハ三月十三日付總人秘第一三五號ヲ以テ及
通牒置候處之ガ取扱ニ關シテハ更ニ左記方針ニ依リ處理相成
度此段及通牒候也

記

一、各級支部役員及協力會議員

1 役員及協力會議員ガ立候補スルコト、選舉事務長選舉委
員又ハ第三者トシテ選舉運動ヲナスハ共ニ自由トス

此ノ場合役員ノ肩書ヲ使用スルハ差支ヘナシ

2 役員及協力會議員ガ選舉運動ヲナスニ當リテハ努メテ翼贊議會確立ノ線ニ沿ハシムル様指導スルト共ニ特定支部役員又ハ協力會議員全員ノ連名ヲ以テスル等支部ノ運動ニ紛ラハシキ運動ヲ避ケシムルコト

二、各級支部職員

1 職員ノ立候補ハ貴職ノ許可ヲ受クルニ於テハ現職ノマ、ニテ差支ヘナシ但道府縣(六大都市ヲ含ム)支部庶務部長、組織部長ガ貴職ノ許可ヲ受ケ(此ノ場合事前ニ本部ノ承認ヲ受クルヲ要セズ)立候補セントスルトキハ立候補届出前ニ自發的ニ退職セシムルコト

2 職員ガ演說又ハ推薦狀ニ依ル選舉運動ヲナス場合ニ其ノ肩書ヲ使用スルハ差支ヘナシ

翼贊政治体制確立協議會委員

(○印ハ特別委員)

一 貴族院關係

兒玉

秀雄

井田

盤楠

○太田

耕造

下村

宏

○瀧

正雄

矢吹

省三

二 衆議院關係

前田

米藏

○山崎

達之輔

○永井

柳太郎

○岡田

正憲

○大塚

唯男

○岡田

忠彦

太田

正孝

三 大政翼贊會關係

安藤

紀三郎

○後藤

文夫

○横山

助成

○遠藤

柳作

四 軍部關係

○阿部信行小磯國昭

末次信正高橋三吉

五 財界關係

藤原銀次郎結城豐太郎

平生 夙三郎 ○藤山愛一郎

小倉正恒 ○伍堂卓

大河內正敏

六 農林關係

石黑忠篤酒井忠正

○千石興太郎

七 新聞言論界關係

田中 都吉 德富猪一郎

翼賛政治體制協議會々則

第一條 本會ハ翼賛政治體制協議會ト稱ス

第二條 本會ハ大東亞戰爭目的完遂ノ爲昭和十七年四月施行ノ衆

議院議員總選舉ニ際シ適正ナル全國的推薦運動ヲ行ヒ以テ強力ナル翼賛議會體制ノ確立ヲ期スルヲ目的トス

第三條 本會ハ東京ニ本部、各道府縣ニ支部ヲ設置ス

第四條 本會ニ會長一名及幹事若干名ヲ置ク

會長ハ會務ヲ統理ス

幹事ハ會員中ヨリ會長之ヲ委囑シ會務ヲ掌理ス

第五條 本會ニ事務局ヲ置ク 會長ノ命ヲ受ケ會務ヲ處理ス

第六條 支部會員ハ本部之ヲ委囑ス

支部ニ支部長一名及幹事若干名ヲ置ク

支部長ハ支部會員中ヨリ會長之ヲ指名シ支部幹事ハ支部會員中

ヨリ支部長之ヲ指名ス

第七條 本會ニテ推薦スベキ候補者ハ各支部ニ於テ銓衡ノ上内申

シ本部之ヲ決定スルモノトス

第八條 本運動ニ要スル經費ハ會員ノ負擔又ハ寄附金ニ依ルモノ

トス

第九條 本會ハ昭和十七年四月施行ノ衆議院議員總選舉終了後殘

務處理ノ上解散スルモノトス

翼贊政治体制協議會何道府縣支部規約（準則）

第一條 本支部ハ翼贊政治体制協議會何道府縣支部ト稱シ何市ニ

置ク

第二條 本支部ハ何道府縣ニ於テ本協議會々則第二條ノ目的ヲ遂行スルモノトス

第三條 支部長ハ本支部ノ會務ヲ統理ス

幹事ハ支部長ヲ輔ケ會務ヲ處理ス

本支部ニ事務所ヲ置キ支部長ノ命ニ依リ會務ニ從フ

第四條 本支部ノ經費ハ本部補助金及寄附金ヲ以テ之ニ充ツ

第五條 本支部ハ昭和十七年四月總選舉終了後ハ殘務整理シテ解

散スルモノトス

本協同會ノ行フ推薦運動

一、本會ハ推薦候補者ノ當選ヲ期スルタメ支部ト緊密ナル連絡ノ下

ニ第三者推薦運動ヲ行フモノトス

二、本會ハ次ノ推薦運動ヲ行フモノトス

イ、推薦狀ノ發送

ロ、推薦演說會ノ開催

三、推薦狀ノ發送、演說會ノ開催ハ支部ヲシテ夫々企畫實施ニ當ラ

シメ本部コレヲ應援ス

支部設置手續要領

一本會長ハ各道府縣ニ於テ支部會員トシテ適當ト認ムル者（十五名乃至二十名ヲ基準トス）ニ對シ依囑狀ヲ發ス

二右人選ノ基準ハ大東亞戰爭完遂ノタメ翼賛議會確立ノ熱意ニ燃エ人格識見高ク舉（道府）縣的聲望ヲ有スル者タルコトヲ要ス

但シ官吏又ハ其ノ道府縣ニ於テ立候補ヲ豫想セラルルモノヲ除ク

三本會長ハ事務局ヲシテ支部會員人選ノ原案ヲ作成セシメ特別委員會ニ諮リ之ヲ決定スルモノトス

四本會長ハ支部會員ノ依囑狀ヲ發スルト共ニ支部長ノ指名ヲナス

五支部設置ニ關シ本會長ハ本會員、其ノ他適當ナル代表者ヲ其ノ
道府縣ニ特派シ本會ノ運動其ノ他ニ就テ協議セシム

(以上)

候補者銓衡手續要領

- 一、支部ニ於ケル推薦候補者ノ銓衡ハ投票ニ依ラズ熟議懇談ヲ旨トシ衆議ヲ盡サシメタル上支部長之ヲ統裁スルモノトス
- 二、支部ニ於ケル銓衡決定ノ上ハ逐次支部長之ヲ本部ニ内申シ其ノ決定ヲ求ムルモノトス
- 三、本部ノ銓衡決定ハ支部ノ内申ニ基キ銓衡委員會ニ諮リ會長之ヲ統裁ス
- 四、推薦決定シタル上ハ支部ニ於テ速カニ推薦届出ヲ爲スモノトス

地發乙第一五八號

昭和十七年四月二日

内務省 地方局長

内務省 警保局長

北海道廳長官

各府縣知事宛

警視總監

選舉期日公布後ニ於ケル眞實選舉貫徹運動ノ取扱方ニ關スル件

眞實選舉貫徹運動ニ就テハ愈々之ガ徹底ヲ圖ルニ努メラレツツ
アルコトト存ズルモ選舉期日公布セラレ選舉運動期間ニ入りタ

ル後ニ於ケル啓蒙運動ノ實施ニ當リテハ選舉運動トノ混淆ヲ避
クル爲概ネ左記ニ御留意相成度

尙之ガ實施ニ當リテハ「啓蒙運動ノ實施上注意
ヲ要スル事項」就中「時期ニ於テ注意スベキ點」ニ特ニ留意セ
ラルルヤウ致度

記

一道府縣、市町村、大政翼賛會、選舉肅正中央聯盟等ノ主催ニ
係ル講演會、映寫會等ニシテ市區町村以上ノ區域ヲ單位トス
ルモノハ差支ナキモ四月下旬ニ入リテハ之ヲ開催セシメザル
コト尙小規模ノ懇談會、座談會等ハ之ヲ行ハシメザルコト

二町内會、部落會、隣保班等ノ集會ハ定例常會ノ外之ヲ行ハシ
メザルコト

三、町内會、部落會、隣保班等ノ定例常會ニ於テ翼贊選舉ノ誓、
申合等ヲ爲スハ差支ナキモ候補者ニ關スル論議、意見交換等
ハ之ヲ爲サザルヤウ指導スルコト



昭和十七年五月

總選舉の無効
投票に表はれたる
經濟關係要注意記事調

内務省警保局保安課

(第三係)

目次

一、緒言	一頁
二、經濟關係要注意記事の綜合的狀況	二頁
三、主なる要注意投票の記事内容（原文寫）	六頁
四、結語	一六頁

總選舉の無効
投票に表はれたる
經濟關係要注意記事調

一 緒言

(イ) 本調は、今次總選舉終了後各道府縣より報告せられたる要注
意並に特異投票中に、時局柄經濟關係の要注意記事あるもの多
數ありたるを以て、特に其の記事の内容を調査せるものなり。
(ロ) 今次總選舉に於ては、棄權率例年に比し著しく低下したるも
投票數に對する無効投票數は、左の如く従前に比し稍々高率を
示せり。

年次	投票總數	無効投票總數	投票數對無効 投票數百分率
昭和十一年	一一、二四九、六六三	一一、六八一、九	一〇三%
昭和十二年	一〇、三三七、七九一	一一、四〇四、四	一一〇%
昭和十七年	一一、一三五、五一一	一四、四四二、三	一二九%

(イ) 無効投票の記事内容は従前に比し一般に悪戯其他不眞面目なるもの減少し、戦時下國民の意氣或は生活上切實なる問題に關する意嚮要望等を表示せんと試みしが如きもの、増加を見たり。更に思想上及治安上注意を要すと認めらるゝもの、投票中には別項の如く經濟關係の要注記事あるもの約六割を占め、就中配給米の不足、其他經濟諸統制の運用等に對する不滿不安を訴へたるもの、夥しきは注目に値すべく、而して其の反面反戦反軍及不敬等の悪言不遜なる投票は従前に比し概ね減少せり。之等は孰れも今次選挙選舉の特異現象と認めらる。

(ニ) 尙無効投票中岸商工大臣を思想的に非難し不遜なる字句を記載したる投票相當多く見受けられ(別項三ノイ参照)たるが、之は統制實施下經濟界方面の一部民心を表はせるものなるべし。經濟關係要注記事の綜合的状況

各道府縣より報告の要注並に特異無効投票を總括調査するに、

經濟關係の要注意記事ある投票は勿論、經濟關係以外の思想上及治安上の要注意投票も、一般に大都市及物資需給關係其他經濟事情の複雑なる地方に多く、又其の内容も深刻なるものあるを見受けらるゝ所なるが、之に反し農村方面及經濟事情の比較的良好と認めらるゝ地方は、要注意投票概ね僅少にして、又其の内容に於ても格別のものを認めざるなり。従つて今之等の實情と地理的關係を考察し、全國中北海道外十五府縣の要注意無効投票に付、其の經濟關係要注意記事を調査綜合すれば左表の如くにして即ち思想上及治安上の要注意無効投票總數

一、二二七票

中

經濟關係の要注意記事あるもの

七七二票

なるが更に經濟關係要注意記事

配給米不足を訴へたるもの

三三七票

中小商工業者救済を訴へたるもの

一四七票

經濟統制の機構運用等に對する

不平不滿を述べたるもの

の多きを算し居るは、時局柄相當留意の要あるべし。

三 主なる要注投票の記事内容（原文寫）

前項は主として經濟關係の要注記事を量的方面より綜合觀察し、其の傾向を調査せるものなるが、更に經濟關係要注記事の質的傾向を見んが爲に、其の主なる投票の記事内容（原文寫）を掲ぐれば左記の如くにして、即ち之を要約すれば、經濟關係の要注記事は一般に當面の經濟的實生活に即したる切實眞剣なる希望及意見等を述べたるもの多し、中には希望乃至意見具陳の域を脱して、現状の事態に極度の反感を抱き居るが如きものあり。又各要注投票を通じて看取せらるるは配給機構の運用就中末端機構員の態度並に非違行動等に対し多大の不滿反感を抱き居るが如き記事の多きことなり。更に又政府の經濟統制策其のものを行過ぎ乃至共産的政治なりと批評し、或は岸商工大臣を思想的に非難し、過激不穩なる字句を以て綴りたる投票も相當あり。尙當面の重要案件たる中小商工業者の整備に關しても、弱小業の犠牲

反對を始め未だ本事業の目的趣旨等を理解するに至らず。徒らに不安焦燥に驅られ居るが如きものも相當あり。之等は孰れも經濟統制實施下の一部民心の實狀を表現し居るものと認められ、特に注意を要する點を思料せらる。

(イ) 配給米の不足を訴へたるもの

- 1、働もものに米を與へよ
- 2、土方米なりとい
- 3、労働者死線上にあり増配せよ
- 4、米不足闇買ふ力なし労働者
- 5、五十歳以上のハタラク人ニ米ヲフヤセ
- 6、腹が減つては戦に勝てぬ
- 7、子供が多くて米に困る
- 8、子供ヲ持ツ人オ米ガ足りヌ、生メヨ育テヨソ男ヤ無理ダ

注意

○ 9、米ガナイ何ぞかシテクレ

○ 10、議員出スヨリ米ヲ出セ

○ 11、選舉なごより飯を腹一ばい食ひていよ

○ 12、腹ヲスカシテ何ノ選舉

○ 13、腹が減つて居るんだ大馬加野郎

○ 14、米ヲ増配セヌト近ク騒動ヲ起ス

○ 15、米不足サツマーバ八十錢

○ 16、金持ハタラフク食ヒ吾々ニハ三合三勺丈ケ何が大政翼賛ダ

選舉ダ

○ 17、腹一ぱい飯ヲ喰ツテノハ巡查ノ子ト米屋ノ子ダケ

(四) 肥料、鹽、薪炭其の他物資不足を訴へたるもの

1、肥料なくして増産なし

○ 2、鹽ト肥料ヲ下サイ

3、鹽ヲ増配セヨ

4、木炭増配

5、河盛瓦斯ナイ家ニ薪木ヲ配給セヨ、働ク人ニ足袋ヲ配給シテ

6、肥料無し味噌なし鹽なし張合なし死んで行くには〇もいらなし、政治謳歌の氣持失ひそれで東條エーキで居る

7、もめん、しほ、ぶたのゑさ、いご、田のこゑこの五つ色がたりません、きよい人もわるくなりますの、かおいたわることのできないせいふならせんきよをするひつ用わないや、はだかてはたらき事は出来ません。せいふの人は米がなくてもいのちがありますか

8、職(食)ナクテ何ソノ己ガセンキヨカナ
9、官吏、百姓ヲ馬カニスルナシヲヨコセ

(い) 經濟統制及其の機構運用等に不平不満を述べたるもの

1、自由經濟、統制亡國

- 2、合同ニヨル業者ノ自滅ヲ救ヘ
- 3、政府ノ共產仕事ガイヤ
- 4、爆彈デ死ンデモ魂ハ死ナイ強壓的ノ政治ノ産物ハ共產主義
- 5、行過統制大阪市
- 6、ドノ組合モ役員ハ自己ノ立場カラ上ニ厚ク下ニ薄シ、公平ナル統制ヲ望ム
- 7、小資本轉業サセテ肥ル資本家
- 8、官僚獨善商人イジメチスルナ
- 9、官吏極樂商工地獄せめてなりたや守衛さん
- 10、配給所員ノ人間味をたのみ
- 11、スタールリン岸大臣覺悟アレ
- 12、岸信介ノ大馬鹿野郎（外に同趣旨一票）
- 13、商相ヲ取り替へ口岸馬鹿（右同）
- 14、岸信介ヲ屠レ（外に同趣旨六票）

- 15、岸クタバレ
- 16、國体ヲ變革者岸ヲ倒セ
- 17、覆面之〇〇主義者岸信介
- 18、新ラシイ共產主義者岸信介ヲ打チ殺セ
- 19、岸商工大臣ハ國賊ナリ今ニ天罰アラシ
- 20、國民團結一致ヲミダス岸ヲトリカエロ
- 21、岸商相首切レ一青年
- 22、正直ト大家ハ亡ブ商相ノ無責任ヲ問フ
- 23、岸様御かけてルンペン
- 24、推名次官首ヲ洗ツテ居レ
- 25、金持ガ買付ルトイフ農相ハバカダ
- 26、井野農相ヲ暗殺セヨ
- 27、業ヲ奪ハレ前途ハ暗ダ
- 28、縣外輸出禁止ノ惡制ヲ廢シ國內物資ノ完ヲ圖レ

29、配給ハ公平ニ

30、子供ノ多ク 轉業者ヲモツト優遇セヨ

31、ゴム靴ハナゼ弱イカ其ノ政策者ガ悪イカラダ

32、近頃不用品ヲ産組ヨリ押賣的ニ配給サレタリ、腐敗食品ノ

特配ニハ困リマス

33、賣惜ミ防止

(二) 中小商工業者ノ救済を訴へたるもの

1、商業人誠ニ以テ不安ナリ

2、政府ハ我等ノ敵ダ小賣者トースルカ

3、商人ヲ亡ス現政府ハ信任出來ズ

4、中小商工業者見殺ニスル現政府ハ絶對反對ダ

5、商人殺シノ政治ヲヤメヨ生活難墮胎法ヲ求ム

6、轉廢業者ハ生活不安ナリ

7、中小商工業者ヲ生セ

- 8、小商工業者ヲ亡ボスナ
- 9、弱キ者ヨ汝ノ名ハ小商人
- 10、轉業絶對反對
- 11、中小商工業者を助ける人材なきか
- 12、中小工業者は犬猫ヲアラズ殺サレテタマルカ
- 13、小商工業者ハ死ニ頻ス馬鹿野郎

(ホ) 物價高を訴へたるもの

- 1、物價引下ゲノ代議士ヲ要望ス
- 2、ブツカガタカクテカヘナクテコマル
- 3、物價を下げる
- 4、低物價政策ヲ如何シタ我々ノ生活ヲドウシテ呉レル
- 5、物價が高くて生活出來ない
- 6、物資不足ハガマンシヨウ、ダガ物價ハ數倍ニナツタ、然モ
免稅點ヲ引キ上ゲタ翼贊會ハ何チシタカ 生花ノ教授

(ウ) 闇取引の取締を要望せるもの

1、ヤミチコロセ、メシチクワセヨ

2、金持の闇をボクメツ

3、誰でもよい暗賣をなせ

4、生菓子ト八百屋ノやみをナントカシテ下サイ

5、不正商人ノ重罰、商人官吏ハ困ル

6、トクハイニ闇ガアル

7、闇取引ノ元祖岸井野

(ト) 行列買の廢止を要望せるもの

1、女達の買物行列ヲ止メサセヨ

2、魚屋八百屋ノ店頭ヲ見ヨ

3、八百屋魚屋五六時間待ツ併モ不正是正スル議員ガナイ

4、店頭買物行列ヲ止メヨ

5、行列禁止

6、買物ヲ一列作ラズ買ハれる様願ひます
7、物ノ不足ハ仕方ガナイ、ダガー一匹ノ魚ヲ買フノニヤ、三時
間モ四時間モ一家ヲ留守ニセネバナラナイ現在ヲ何ト考ヘテ
居ルカ

(六) 國債消化稅其の他に關するもの

- 1、高稅ヲ國債ヲ買ハヤラレヤリキレヌ
- 2、債券賣ノハヤメヨ、ピンボニンハツライ
- 3、債券ノ押賣ヤメテ呉レ
- 4、稅ハ專變成金ニ配給ハ公平ニ
- 5、米ニ物價のバランスをこれ増産するから
- 6、不合理な方公定價格
- 7、ジダイヤチンドウスル
- 8、半島人の轉業善處を願ひます
- 9、百姓ニ酒ヲ造らせ

10、更生金庫モ息アル間ニ願上候

11、兒童ニ教科書ヲ與ヘヨ

四 結 語

公正に行使せらるべき投票に不平不満其の他の他事記入を爲すが如きは素より排斥すべきことなるも、當局者は又一面其の立場を空しうして事物の現實の事態を直視し、國民の思想動向は勿論人情の機微等にも觸れ、常に其の實相を把握して政治を行ふの要あり、斯る意味に於て今次總選舉の無効投票に表はれたる經濟關係の要注意記事を點檢すれば、今次經濟關係要注意記事は、其の投票の量に於て又記事の質に於て必ずしも一部不平分子の惡戲的所爲とのみ見る能はず、寧ろ其の多くは國民思想の低流に鬱積せられたる切實眞剣なる叫びなりとも觀じ得べく、従つて本投票の如き所謂「聲なき聲」には相當傾聽するに價するものありと思料せらるゝなり。

而して本資料より何を得、何を参考とすべきかは、既記の事項を見て明かなるが、只茲に特に一言したきは經濟關係の諸問題は專些事なりと雖も、事案の内容如何に依りては思想上及治安上に及ぼす影響甚だ大なるものあるを以て、之を特高警察の上より見るも慢然之が解決策を遷延し得ざるものなること、又配給米の不足を始め末端配給機構員の不公正不親切及當面の重要案件たる中小商工業者の整備其の他經濟統制に關する一切の不滿不安等は、其の企業關係者たること否かを問はず、概ね時局認識の徹底、或は經濟統制の趣旨と實行に對する理解と協力の精神を缺くに原因し居るが如く認めらるゝことにして、斯る點よりすれば、今後は正改革を要すべき經濟上の各種懸案及問題は最も迅速に然かも「不可能」事を可能ならしむるの熱意を以て、之が處理に當るを要すべきは、勿論又一面各種經濟統制の實施に當りては、之に先行して從來より一層の效果的啓發乃至目的貫徹運動を強力に推進せしむるの要あるを感ずる次第なり。

代議士、兵籍關係調

氏名	階級	選挙区	備考
吉田貞次郎	陸軍中尉	北海道二	新
北勝太郎	陸軍中尉	四	前
八角三郎	海軍中將	岩手一	前
高橋壽太郎	海軍少將	二	前
金子定一	陸軍少將	二	新
高木義人	陸軍中將	宮城二	新
近藤英次郎	海軍中將	山形一	新
植松練磨	海軍少將	福島三	新
日下田武	陸軍中尉	栃木二	新
松岡秀夫	陸軍中尉	埼玉三	新
四王天延孝	陸軍中將	東京五	新
長沼権一	陸軍少將	新潟一	新
堀内一雄	陸軍少佐	山梨全	新
中原謹司	陸軍中尉	長野三	前

滿洲國少將

漢那憲	水田良吉	三浦虎雄	荒川真郷	石坂	伊吹元五郎	真崎勝次	橋本欣五郎	高井佐吉	赤松寅七	宇田耕一	江藤源九郎	田島榮治郎	林正男	石島敬一	石青治	如藤弘造	小野祐之
海軍少將	陸軍中尉	海軍中佐	陸軍少將	陸軍中尉	陸軍大佐	陸軍少將	陸軍大佐	陸軍中佐	陸軍少將	陸軍中尉	陸軍少將	陸軍中將	海軍少將	陸軍中尉	陸軍中尉	陸軍中尉	陸軍中尉
沖繩	鹿見島	宮崎	"	熊木	長崎	賀	"	福田	高知	良全	"	愛知	岐阜	富山	富山	岡	野
全	三	全	"	一	一	一	四	二	一	一	五	一	一	二	一	一	四
前	前	前	新	前	新	新	新	新	新	新	前	新	新	新	新	新	新

19

秘

昭和十七年五月四日

第二十一回總選舉ニ於ケル

國家主義團體關係候補者成績調

警保局 保安課

◎第一及第二表中ニハ純然タル既成政黨的人物等ニシテ形式的ニ國家主義團體ニ關係ヲ有シ居ル者ヲ除外ス。

◎第一表中(純)トハ社會員、(系)トハ社會員ニアラザル者、(元)トハ元社會員タリシ者ヲ示ス。

◎第二表ハ國家主義團體關係議會勢力ノ消長ヲ示ス。

◎第三表ハ参考ノ為國家主義團體ニ形式的ニ關係ヲ有スル者ノ選舉成績ヲ示ス。

一、國家主義團體關係候補者選舉結果調

團體名		立候補者數	當選者數	選舉區	新舊別	推薦別	職業	氏名	年令
東方會		四五	七	福岡一區	元	非	著述業	中野正剛	五七
				東京五區	新	非	著述業	本領信治郎	四〇
				新潟四區	新	非	農業	中村又七郎	五七
				愛知三區	前	非	著述業	鈴木正吾	五三
				岐阜二區	前	非	著述業	三田村武夫	四四
				高知一區	前	非	農業	大石大	六六
				沖繩	新	非	無職	湧上聾人	五五
				福岡四區	新	推	無職	橋本欣五郎	五三
				東京三區	新	推	醫師	今牧嘉雄	四六

大日本赤誠會
二二
五

瑞穂俱樂部		則天塾	天南打用期成会	建國會	國粹大衆党	大日本黨					
四		二	二	一	六	四					
三		一	一	一	一	二					
佐賀一區	長崎一區	福島三區	兵庫五區	福岡二區	東京六區	大阪五區	神戶三區	兵庫五區	廣島三區	茨城三區	青森二區
新	新	新	新	新	新	新	新	新	前	新	新
推	推	推	推	非	非	非	推	非	推	推	推
海軍少將	陸軍大佐	海軍少將	弁護士	著述業	著述業	社員	新聞記者	著述業	農業	農業	社員
眞崎勝次	伊吹五郎	植松練磨	木崎爲之	萬井佐吉	赤尾敏	世川良一	安藤覺	佐々井一晁	永山忠則	赤城宗徳	竹内俊吉
五九	六九	六〇	四八	五〇	四五	四四	四四	五九	四六	三九	四三

大東亜同志会 (専)		東亜聯盟協会			國際反共聯盟		心のもと会	祖國会	愛國同志会	國体擁護聯盟	大東亜細亞協会
四		三			二		一	一	二	三	一
二		三			二		一	一	一	一	一
青森 二区	東京 一区	宮城 一区	東京 六区	山形 一区	千葉 二区	東京 五区	兵庫 二区	新潟 一区	大分 二区	福井	和歌 二区
新	新	新	前	前	新	新	前	前	新	新	新
非	推	推	推	非	推	推	非	非	推	非	推
農業	著述業	著述業	弁護士	著述業	弁護士	無職	弁護士	著述業	陸軍省顧問	著述業	大學教授
五	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
楠美省吾	福家俊一	阿子島俊治	中村梅吉	木村武雄	伊藤清	四五天延孝	吉田賢一	北 玲吉	大島高精	薩摩雄次	中谷武世
三八	三一	四一	四二	四一	五三	六四	四九	五八	五八	四六	四五

元 東 方 會	元 明 倫 會	元 信 州 鄉 軍 同 志 會		元 日 本 革 新 黨	元 創 生 會	元 七 生 社	皇 道 會	猶 興 會			
四	一	二		四	一	二	一	一			
四	一	二		二	一	二	一	一			
島 取	北 海 道	山 梨	長 野 四 區	長 野 三 區	奈 良	愛 知 一 區	福 岡 三 區	佐 賀 一 區	新 潟 一 區	山 梨	長 野 二 區
前	前	前	新	前	前	元	元	新	新	前	前
推	推	推	推	推	非	非	推	非	推	非	推
合 社 重 役	著 述 業	合 社 員	商 業	農 業	無 職	商 業	午 護 士	合 社 重 役	合 社 員	出 版 業	無 職
由 谷 義 治	渡 辺 泰 邦	今 井 新 造	小 野 祐 之	中 原 謹 司	江 藤 源 九 郎	山 崎 常 吉	沖 藏	松 岡 平 市	稻 葉 圭 亮	平 野 力 三	小 山 亮
五 五	五 二	四 九	四 八	五 四	六 四	五 二	五 〇	四 二	五 七	四 五	四 八

印度独立支援同盟	大東亞青年同盟	大日本錦旗会	興亜俱樂部	大日本国体学会	大日本経国联盟	元大日本防謀联盟	直公道場	元皇道自治会	元國民躍進同盟	皇国日本運動	全日本学生同志会
—	—	—	—	二	七	—	—	—	—	—	—
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

大八州会	—	0							
愛國公党	—	0							
皇道固成会	—	0							
岳南郷孝党	—	0							
省本精神宣揚会	—	0							
国民生活研究所	—	0							
顕眞塾	—	0							
雄姿塾	—	0							
合	計一九六	四九							

備考 国際反共聯盟 東亜聯盟協会等ノ候補者中ニハ既成政党的人物アルヲ本表中ノ候補者數ハ便宜
 上當選者數ヲ計上ス

二 國家主義團體關係議會勢力比較調

團體名	前期當選	今期選挙前	今期當選	比較		備考
				前期	今期選挙前	
東方會	三田村、大石 杉浦、田中、青木 中野、小野 渡辺、馬場、三浦 由谷、木村	三田村、大石 杉浦、田中、青木	三田村、大石 中野 本領、村濱上 鈴木	一	五	鈴木八當選後入会云
大日本赤誠會	0	永山	橋本、今牧、竹内 赤城、永山	五	四	橋本以外八純會員ニアラス 今牧、脱会、竹内、赤城 永山、赤誠會系人物
大日本党	0	0	一	+	+	佐々井
國粹大衆党	0	0	一	+	+	笹川
建國會	0	0	一	+	+	赤尾
天關打院期成會	0	0	一	+	+	満井

則天塾	瑞穂俱樂部	國際及共聯盟	東亞聯盟協會	元日本革新党	元明倫會	皇道會	祖國會	立憲養正會	皇國日本運動
0	0	0	0	五 赤松、小池、中原、江藤、山崎	一	一	一	一	一
0	0	0	四 木村、原、中村、梅、中村、高	四 赤松、小池、中原、江藤	一	一	一	一	一
一	三	二	三 木村、中村、梅、阿子島	三 中原、山崎、江藤	一	一	二	0	0
+	+	+	+	一				一	一
一	三	二	三	二				一	一
+	+	+	一	一				一	一
一本崎	三植松、伊吹、真崎	二里天、伊藤			今井	平野		田中耕	小田榮

備考	計
① 増加	二二
② 減少ヲ示ス	一九
	三一
	④ 九
	④ 二

三 純革新人物ニ非ズシテ國家主義團體ニ關係アル

者ノ選挙結果調

東亞聯盟協會		國際及共聯盟		團體名		立候補者數	當選者數	選挙区	新旧別	推薦別	職業	氏名	年齢
三五		五		東京一區		三	三	東京一區	新	推	無職	牛塚虎太郎	七三
二		三		三福井		三	三	三福井	前	推	〃	猪野毛利榮	五七
宮城一區	〃二區	福島一區	〃四區	新瀉二區	神奈川二區	兵庫三區	〃	兵庫三區	新	推	北支軍顧問	黒田巖	三七
新	新	新	新	新	前	新	〃	〃	前	推	社會重役	野口喜一	四八
推	推	推	推	推	推	推	〃	〃	推	推	町長	佐藤芳男	四七
弁護士	農業	町長	新聞記者	町長	新聞記者	町長	新聞記者	新聞記者	新聞記者	新聞記者	新聞記者	石田善佐	五〇
菊地養之輔	唐橋重政	加藤宗平	加藤宗平	石田善佐	石田善佐	石田善佐	石田善佐	石田善佐	石田善佐	石田善佐	石田善佐	唐橋重政	四九
五	四	四	四	五	四	四	四	四	四	四	四	唐橋重政	四九

岩手二区	青森一区	秋田一区	北海道二区	静冈一区	长野二区	石川二区	三重二区	兵库一区		
新	前	新	前	前	前	前	前	前	新	新
推	推	推	推	推	推	推	非	推	推	推
満洲國協 和会理事	弁護士	農業	材木商	弁護士	無職	会社重役	製糸業	陸軍少政 顧問	弁護士	
金子貞一	森田重次郎	二田是儀	松浦周太郎	南雲正朔	加藤弘造	森口淳三	小山邦太郎	櫻井兵五郎	長井源四	中井一夫
五八	五三	四八	四七	四〇	四八	四六	五四	六三	四九	五四

(七)

通計	計	元東亞建設團會	使命會	葉隱協會	明倫會聯合會	大日本勤皇會														
		二四五	四九	三	二	一	一	二												
通計	計	八三	三四	三	二	一	一	一												
		山口一區	香川一區	愛媛二區	長崎一區	〃二區	山梨	大政一區	千葉三區	富山一區	茨城二區	新瀉二區	兵庫一區	〃四區						
通計	計	前	前	新	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前
		推	非	非	推	推	推	推	推	推	推	推	推	推	推	推	推	推	推	推
通計	計	無職	著述業	村長	弁護士	銀行重役	〃	通信社長	弁護士	著述業	著述業	著述業	〃							
		西川貞一	前川正一	村瀨武男	則元卯太郎	川副隆	田辺七六	川上胤三	小高長三郎	高見之通	川崎巳之太郎	高岡大輔	今井嘉幸	清瀨一郎						
通計	計	四〇	四五	六四	五二	五四	六四	五六	五三	六三	七〇	四二	六五	五九						

通計十八第一三表、合計

昭和十七年

第二十二回衆議院議員總選舉

當選者得票調

翼賛政治體制協議會

凡 例

一、本調ハ第二十一回衆議院議員総選挙ニ於ケル各選挙区毎ノ當選者ノ得票数ヲ示スヲ主トシ、併セテ、次点者得票数及次点ニ達セザル本協議會推薦候補者ノ得票数並ニ其ノ順位ヲ示スモノナリ。

二、岡山縣第二區ノ開票ハ未完了ナルヲ以テ五月二日判明ノ票数ノミヲ掲出シタリ。

三、氏名ニ〇印ヲ冠セルハ本協議會推薦候補者ナルヲ示ス。

四、本協議會推薦候補者ノ當選数ハ三七八名此數岡山縣第二區ノ開票ニ依リテ増加スル見込ニシテ推薦候補者ガ其ノ府縣又ハ選挙区定員ノ全部ヲ占ムルモノト如シ。

(イ) 府縣定員ノ全部ヲ占ムルモノ（一ニ縣ニ五選挙区）

埼玉縣 群馬縣 岩手縣 長野縣 石川縣 滋賀縣
鳥取縣 熊本縣 長崎縣 大分縣 宮崎縣 鹿児島縣

(ロ) 前掲(イ)ノ外、當該選挙区定員ノ全部ヲ占ムルモノ（一ニ七選挙区）

東京府第七區

神奈川県第一區第二區

千葉縣第二區第三區

茨城縣第一區 栃木縣第二區 北海道第三區第五區

宮城縣第二區 福島縣第二區 新潟縣第二區

富山縣第二區 愛知縣第三區第四區 岐阜縣第三區

大阪府第六區 和歌山縣第二區 兵庫縣第一區

山口縣第二區 愛媛縣第二區第三區 德島縣第一區

高知縣第二區 福岡縣第四區 京都府第二區

(ハ) 定員ニ足ラザル推薦候補ヲ擧ゲタル選舉區ニシテ、其ノ全部カ當選

シタル選舉區(大選舉區)

茨城縣第三區 青森縣第一區 新潟縣第一區 愛知縣第五區

大阪府第一區 高知縣第一區 京都府第一區

五、本協議會推薦候補者ニシテ次点ニ在ルモノハ左記五ニ選舉區ナリ。(岡山縣第二區ニ付テハ未定)

東京府第一區第二區第四區第六區 神奈川縣第三區 千葉縣第一區

區第三區 山梨縣 茨城縣第二區 栃木縣第一區 北海道

第二區 青森縣第二區 秋田縣第一區 山形縣第一區 宮

城縣第一區 福島縣第三區 新潟縣第三區第四區

富山縣第一區 福井縣全區 靜岡縣第一區第二區第三區 愛知縣

富山縣第一區 福井縣全區 靜岡縣第一區第二區第三區 愛知縣

第一區第二區 三重縣第一區 岐阜縣第二區 大阪府第四區第五區
 區 京都府第一區第二區第三區 奈良縣全區 和歌山縣第一區
 兵部縣第二區第四區 岡山縣第一區 廣島縣第二區第三區 山口
 縣第一區 島根縣第一區第二區 香川縣第一區第二區 愛媛縣第
 一區 ~~第二區~~ 德島縣第二區 福岡縣第一區第二區 佐賀縣第一區 沖繩
 縣全區

正 誤 表

頁 數	選舉區名	正	誤
六頁	茨城縣第三區	赤城 宗德	赤城 泉德
二四頁	愛知縣第三區	內藤守正 二四七三票	(全上) 二四七三票
三五頁	兵庫縣第五區	山川頼三郎 九六八五票	(全上) 二四四票
四三頁	德島縣第一區	谷原 公 二〇三四三票	(全上) 二〇三四三票
四五頁	福岡縣第二區	赤松 寅七	赤杉 寅七
五一頁	鹿兒島縣第二區	濱田 尚友	濱田 尚次
五二頁	沖繩縣	眞榮城守行	直榮城守行

第一區 第二區 三重縣第一區 岐阜縣第二區 大阪府第四區 第五區
京都府第一區 第二區 第三區 奈良縣全區 和歌山縣第一區
兵庫縣第二區 第四區 岡山縣第一區 廣島縣第二區 第三區 山口
縣第一區 島根縣第一區 第二區 香川縣第一區 第二區 愛媛縣第
一區 ~~第二區~~ 德島縣第二區 福岡縣第一區 第二區 佐賀縣第一區 沖繩
縣全區

昭和十七年五月三日

九 四 中 近 東 北 東北 關
 州 國 國 畿 海 信 北海道 東

沖鹿宮大長佐熊福 高徳愛香 島島山嶺岡兵 和奈滋京大 波三慶靜 福石富新長 福留岩山秋青北 山柄群茨千埼 東
 况 崎分崎野本岡 知島綾川 根取口島山庫 良賀郡飯 厚重知岡 井川山編野 島城手形田森海 梨木馬城葉玉 奈川 京
 縣縣縣縣縣縣縣 縣縣縣縣 縣縣縣縣縣縣 縣縣縣府府 縣縣縣縣 縣縣縣縣縣 縣縣縣縣縣縣 縣縣縣縣縣縣 縣縣縣縣縣縣縣縣 縣縣縣縣縣縣縣縣 縣縣縣縣縣縣縣縣縣縣

目次

五五五四四四四 四四四四 四三三三三三 三三三三三 二二二 二二二 一一一 一一一 一一一 一一一 一一一 一一一 九八七六五 四三二 〇九八七六四 三二一〇八 七六 四三 二一〇九八 七六五 四三二 〇 九八七六五 四三一 頁

府 京 東

東 關

(名五員定) 區 = 第						(名五員定) 區 - 第						前元新	
有権者 120,938						有権者 118,226							
新	新	前	前	前	前	前	前	元	元	新	前	新	氏
(次) 〇藤田次一郎	〇川口 喬	〇駒井 重次	〇長野 高一	〇中野 政四次	鳩山 一郎	〇高橋 義次	(次) 〇原 玉直	〇橋本 祐幸	大神田 甲治	〇福家 俊一	河野 密	〇牛塚 亮太郎	
八、七、三、五	九、七、九、〇	一、一、七、五、二	一、五、九、四、五	一、七、九、五、三	一、九、〇、八、七	九、一、三、五	九、四、五、四	一、〇、八、二、八	一、一、二、八、三	一、二、一、五、六	一、二、五、一、一	一、一、二、四、三	得 票 数
(名四員定) 區 四 第						(名四員定) 區 三 第						前元新	
有権者 106,049						有権者 105,506							
新	前	新	新	新	前	新	前	新	新	前	新	氏	
〇町田辰次郎	〇林 春琴	(次) 〇小椋善天	山田 竹治	本多 市郎	〇滝沢 七郎	〇眞鍋 儀十	〇大久保源之丞	(次) 〇田川大吉郎	〇今我 嘉雄	〇渡辺 善十郎	安藤 正純		〇頼田 不真六
五、四、〇、六	五、五、三、〇	六、六、四、三	七、九、一、四	九、三、一、六	九、七、一、三	一、六、一、一、〇	七、八、五、七	九、二、七、四	九、八、九、一	一、〇、二、五、五	一、五、六、五、四	一、六、四、八、一	得 票 数

府 京 東

(名五員定) 區 六 第							(名五員定) 區 五 第								
有権者 471,032							有権者 473,995								
新	新	前	前	新	前	前	新	元	新	前	新	前	新	前	新
○天野 碩英	(次)○浜野 清吾	田中 源	○山田 清	赤尾 敏	○前田 水藏	○中村 梅吉	○津久井 貞雄	○三上 英雄	○児玉 善士夫	(次)○西井 貞一郎	花村 貞四郎	牧野 貞男	○本領 信治郎	○大森 清太郎	○四王 天延孝
二五〇九七	二六三九四	二八四一八	四一〇七八	四六二九八	五七五一一	七三六七三	一八三三八	一八八五三	一八九四六	二〇一四二	二六〇九五	二九四一七	四二六九五	七六〇四五	七六〇四五
(名三員定) 區 七 第							(名三員定) 區 七 第								
有権者 104,184							有権者 104,184								
								元	前	前					前元新
								(次)○中村 高一	○坂本 一角	○八並 武治	○津野 國利				氏名
								一六〇〇五	一七〇一〇	二〇六一一	三一六五五				得票数

縣川奈神

(名四員定) 區 二 第					(名三員定) 區 一 第					
有權者 134219					有權者 203102					
前	新	元	前	前	新	新	新	新	前元新	
	○	○	○	○		○	○	○	氏	
(次)片山哲	岡本傳之助	野田武夫	野口喜一	小泉又次郎	(次)三浦寛之助	佐久間道夫	田辺徳五郎	中助松	名	
一三九八三	一九二一三	二〇〇八六	二〇二六〇	二二二九四	一六〇二六	二一〇八二	三二九八三	五〇八五九	得票數	
					(名四員定) 區 三 第					
					有權者 112043					
					前	新	前	新	前	前元新
						○		○	○	氏
					(次)○鈴木英雄	山口左右平	河野一郎	安藤寛	平川松太郎	名
					一〇八七六	一四四〇二	一五二六五	一五六六五	一八七六三	得票數

縣 玉 崎

(名四員定) 區 二 第					(名四員定) 區 一 第					
有權者 100,760					有權者 143,663					
新	前	前	前	前	新	新	新	前	前	前元新
○(次)石川紫一	○石坂養平	○高橋守平	○坂本宗太郎	○横川重次	(次)平岡良藏	○飯塚茂	○遠山暉男	○宮崎一	○松永東	氏名
九四一四	一三〇五八	一五〇八一	一五一五三	一九四四〇	一三七四五	一九一三八	一九八〇三	二四三七七	二六一五八	得票數
					(名三員定) 區 三 第					
					有權者 86,379					
					前	新	前	新	前元新	
					(次)古島美英	○松田秀夫	○出井兵吉	○新井亮爾	氏名	
					一一二四五	一五五六四	一六五二四	一八四八一	得票數	

縣 葉 千

(名三員定) 區 二 第				(名四員定) 區 一 第						
有 権 者 73,911				有 権 者 139,351						
新	前	新	前	新	新	前	前	前	前	前元新
(次) 山 村 新 次 郎	○ 今 井 健 彦	○ 伊 藤 清	○ 吉 植 庄 亮	○ 野 村 惠 一 郎	(次) 後 藤 國 彦	川 島 正 次 郎	○ 篠 原 陸 朗	成 島 勇	○ 多 田 満 長	氏 名
一 三 三 九 七	一 三 七 三 二	一 七 一 八 〇	一 七 八 六 六	一 二 九 七 八	一 四 二 四 九	一 四 三 一 三	一 四 九 〇 九	一 九 〇 六 六	二 一 七 〇 三	得 票 数
				(名四員定) 區 三 第						
				有 権 者 104,816						
				新	前	新	新	前	前元新	
				(次) 伊 藤 博 隆	○ 小 高 長 三 郎	○ 白 鳥 敏 次	○ 中 村 庸 一 郎	○ 岩 瀬 亮	氏 名	
				九 九 三 四	一 〇 二 七 七	一 三 六 三 三	一 四 二 四 三	一 四 二 九 三	得 票 数	

茨城縣

(名三員定) 區 二 第					(名四員定) 區 一 第																	
有権者 85,901					有権者 129,023																	
新	前	新	前	前	元	新	前	前	前	前	元	新	前	前	前	前	前	前	前			
(次)○堀口貴道	川崎己之太郎	○福田重清	○中井川浩		(次)○葉梨新五郎	○小澤治	○瘦五郎	○豊田豊吉	○内田信也													
六七〇三	七四九九	二〇六一五	二五九九一		一〇八九二	一六九九二	一六八〇五	一七〇一九	二五三五一													
										(名四員定) 區 三 第												
										有権者 122,455												
										新	新	前	前	元	前	元	新	前	前	前		
										(次)○飯泉良三	○小篠雄次郎	○佐藤洋之助	○山本久米吉	○赤城泉徳								
										七一四	九一八七	一七三四七	二一三八四	二九九四〇								

六

探 取 冊

(名四員定) 區 = 第					(名五員定) 區 一 第								
有権者 106,002					有権者 149,158								
前	前	前	新	前	前	前	新	前	新	前	前	新	
(次)不備三四郎	○ 藤 須 美 政	○ 水 暮 武 太 夫	○ 磯 山 政 道	○ 最 上 政 三	(次)須 永 好	○ 清 水 留 三 郎	○ 五 十 嵐 吉 藏	○ 青 木 清 一	○ 不 行 實 不 郎	○ 中 島 知 久 平	前	新	
一〇、三、四、五	一四、三、三〇	一五、一、三、一	一六、〇、九、七	一六、五、五、八	一〇、一、四、〇	一三、〇、八、五	一六、一、二、二	一七、八、五、〇	二四、八、四、三	三〇、四、一、四	得	票	数

縣 木 橋

(名四員定) 團 = 第					(名五員定) 團 一 第						
有権者 111.896					有権者 118.445						
新	新	前	前	新	前	新	新	新	前	前	前元新
(次) 小	○ 日下	○ 松	○ 森	○ 森	(次) 菅	○ 佐	○ 夫	○ 高	○ 船	氏	
平	田	村	下	田	又	久	部	田	田		
吉	武	光	國	正	原	間	藤	松	中	名	
		三	雄	義	郎	渡	七	平			
一	一	一	二	一	八	九	一	一	二	得	
一	八	九	一	四	八	三	〇	九	三	票	
七	九	四	一	六	〇	二	七	六	五	致	
六	六	四	四	三	五	二	三	八	七		
三	一	一	一	三	二	二	五	四	七		

山梨縣

全縣一區(定員五名)

有權者ノズルノ

新	新	前	前	前	新	前 元 新
(次)白領規矩治	○堀内一雄	○田辺七文	平野力三	○今井新造	○高野孫左衛門	氏名
八一三一	一五一〇一	一五九五一	一六四七七	一九六三六	一九七四八	得票数

道 海 北

道 海 北 北 東

(名四員定) 區 二 第					(名四員定) 區 一 第					前元新			
有権者 100/115					有権者 131/188								
新	前	新	新	前	新	新	新	新	新	前	前	前元新	
(次)○柏岡清勝	坂東幸太郎	○前田善治	○吉田貞次郎	○松浦周太郎	○小谷義雄	林貞四郎	井川伊平	(次)小川原政信	正木清	○安孫子孝次	○沢田利吉	○山本厚三	氏名
五五九	六二八九	六三五	一〇三三六	一九二五九	六三六七	六六七四	六七七二	八五二七	一〇二四二	一三三八七	一七九六七	得票数	
(名五員定) 區 四 第					(名三員定) 區 三 第								
有権者 151/255					有権者 72/207								
新	新	前	元	前	前	新	前	前	新	前元新			
(次)○村田要助	○軍野靖之助	○深沢吉平	○南条徳男	北勝太郎	○手代木隆吉	(次)米沢勇	○渡辺恭卯	○大島寅吉	○真藤慎太郎			氏名	
一〇五	一八九〇	一五一一六	一五八三二	一八三二五	一九一二三	四九一四	一六六五四	一五二五六	一六九九一			得票数	

道海北

(名四頭定) 區 五 第

有權者 15 5 5 1 2

元	元	前	前	新	前元新
(次)尾崎天風	○奥野小白郎	○東条貞	○南雲正朔	○黒沢自藏	名
一六四五文	一七七九三	一八五一五	一九三三〇	一九三四三	得票数

縣 田 秋

(名三頁定) 區 二 第					(名四頁定) 區 一 第					
有植者 94,432					有植者 106,382					
新	前	新	前	前	前	前	新	前	前	新
○藤肥良治	○邊土田莊助	○齊藤惠三	○小山田義孝	川俣清首	○中田儀直	中川重春	○二田晃磯	○信太儀空門	○町田忠治	氏名
七、五一九	八、五三九	一、二七六六	一、六四〇五	一、七〇七六	一、〇三三七	一、〇四七二	一、一、一二〇	一、一、二九六	一、八、六一一	得票數